

報道機関各位



我孫子市

Abiko city

平成30年5月30日
定例記者会見資料

杉村楚人冠記念館 テーマ展示「てがみ展 海外からのてがみ」 開催

杉村楚人冠記念館テーマ展示「楚人冠の旅 ～近代日本を見る」 開催

展示期間 : 平成30年5月19日(土)～平成30年7月16日(月・祝)

休館日 : 毎週月曜日(7月16日は開館)

入館料 : 一般300円、高校・大学生200円、中学生以下無料

杉村楚人冠記念館では、7月16日までテーマ展示「てがみ展 海外からのてがみ」を開催しています。てがみ展はテーマ展示のシリーズとしてこれまでも開催しておりますが、今回はその中でも海外から届けられたてがみの特集としました。海を越えての手紙のやり取りに注目することで、杉村楚人冠の国際ジャーナリストらしい一面がうかがえる展示です。

今回てがみを展示している主な人物は以下のとおりです。

芦田均(外交官、政治家、昭和23年総理大臣)

第一次世界大戦後成立したトルコ共和国に外交官として赴任していた時代のもので、建国の英雄ムスタファ・ケマル・アタテュルクの写真が入った葉書を使用。

原信子(オペラ歌手)

イタリアで日本人初のミラノ座専属歌手として活躍していた時代のもの。アメリカへ向かう船で楚人冠に「芸術家と外交」について話したとの内容を含む。

J.W.ブラウン(ジャーナリスト)

アメリカの新聞業界紙 Editor&Publisher の社長。欧米の新聞事情に通じていた杉村楚人冠の情報源の一つが同紙であった。

W.ウィリアムズ(新聞学者)

ミズーリ大学新聞学科創設者。新聞学科創設は世界初。楚人冠も大学での新聞記者教育を志向し、慶應義塾と中央大学で講義をしているが、その先駆者がウィリアムズであった。

【問い合わせ】

我孫子市教育委員会

生涯学習部文化・スポーツ課

我孫子市杉村楚人冠記念館

担当 高木

☎ 04-7182-8578